



核なき世界へ どう進むか

核軍縮に逆行する トランプ核戦略

歴史的なブラハ演説で「核なき世界」をめざすと強調した米国のオバマ前大統領は、広島訪問も実現して、核兵器に依存しない平和と安全の大切さを説いた。後任のトランプ大統領は逆に、安全保障政策での核兵器の役割を高め、「使える核」の導入にも意欲を見せている。この流れを止め、「使える核」の掲げた目標を人類共通のものにしていくにはどうすればいいのか。オバマ大統領の側近だった専門家の解説、意見を聞ける貴重な機会です。



講師 **ジョン・ウォルフスタール**さん
米国オバマ政権・核政策担当大統領特別補佐官

プロフィール

ロシアとの核削減交渉や、オバマ氏が「核兵器のない世界」を訴えた2009年のブラハ演説、10年の核態勢見直し(NPR)作成、15年のイランとの核合意、16年の広島訪問、などに携わった。現在は、非核世界をめざすシンクタンク「グローバルゼロ」の核危機グループの座長を務めている。

同時通訳付
入場無料
事前申込不要

2018 8/24(金)

時間 18:00 ~ 19:30

場所 長崎大学文教キャンパス
グローバル教育・学生支援棟3階 G38番教室

主催 核兵器廃絶長崎連絡協議会 (PCU-NC)
〒852-8521 長崎市文教町 1-14

TEL 095-819-2252 FAX : 095-819-2165

URL <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/pcu>

共催 長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA)

核兵器廃絶
長崎連絡協議会
PCU-Nagasaki Council



長崎大学文教キャンパス

グローバル教育・学生支援棟3階 G38番教室



特別市民セミナー

原爆、ソ連参戦と 日本降伏の決定

太平洋戦争において日本を降伏に導くため、米ソ間で熾烈な駆け引きがあった。ポツダム会談から日本降伏決定に至るまでの米ソ間の駆け引きとは。そして、トルーマンの原爆投下とソ連の参戦は実際に日本の降伏決定にどう影響したのか。講師の長谷川毅氏は、「原爆投下は日本を降伏させるための唯一の手段であり、また原爆投下こそが直ちに日本を降伏に導いた」という議論に挑戦している。被爆地・長崎での初講演に、じっくりと耳を傾けたい。



入場無料
事前申込不要



はせがわ つよし
講師 **長谷川 毅**さん

カリフォルニア大学サンタバーバラ校 歴史学部名誉教授

プロフィール

北海道大学やカリフォルニア大学サンタバーバラ校で長く歴史学の教鞭をとる。ロシア史が専門で、日本語で読める著作として「北方領土問題と日露関係」（筑摩書房、2000年）などがある。ロシアに関する専門的知識を活かして執筆された『暗闘—スターリン、トルーマンと日本降伏』（中央公論新社、2006年）は、日本の降伏決定過程をめぐる論争を歴史家の間に引き起こした。

2018 **10/10** 水

時間 18:30 ~ 20:00

場所 長崎大学文教キャンパス
教養教育棟1階 A-14番教室

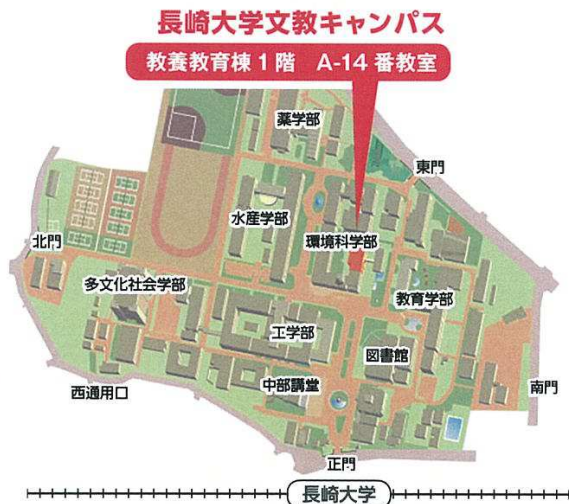
主催 核兵器廃絶長崎連絡協議会 (PCU-NC)
〒852-8521 長崎市文教町 1-14

TEL 095-819-2252 FAX: 095-819-2165

URL <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/pcu>

共催 長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA)

核兵器廃絶
長崎連絡協議会
PCU-Nagasaki Council



急転する 朝鮮半島情勢

「特別市民セミナー」

北東アジアと日本の選択

南北首脳会談に続いて昨年6月、史上初の米朝首脳会談も開かれ、朝鮮半島の完全非核化が合意された。一方、米・中国の2つの陣営による貿易戦争によって、「2度目の冷戦時代」が幕開けしようとしている。この国際情勢の中、日中は本当に「日中新時代」を迎えるのか。北東アジアは中国を中心とする新秩序となるのか。それともトランプ大統領が主張する「米国優先主義」が中国覇権を阻止するのか。そのうねりの中、韓国、北朝鮮、ロシア、そして日本はどの道を選択するのか。北東アジアの今後を韓国の日本政治研究第一人者、陳昌洙（世宗研究所日本研究センター長）が語る。

2019 **2/23** 土

《入場無料、事前申込不要》

（使用言語：日本語）

時間 14:00～16:00

場所 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館
地下2階 交流ラウンジ

主催 核兵器廃絶長崎連絡協議会(PCU-NC)
〒852-8521 長崎市文教町 1-14

TEL 095-819-2252 FAX 095-819-2165

URL <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/pcu>

共催 長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA)

核兵器廃絶
長崎連絡協議会
PCU-Nagasaki Council



講師

陳昌洙

(ジン・チャンス、Chang Soo, Jin)

プロフィール 韓国における日本政治研究の第一人者で、盧武鉉（ノム・ヒョン）政権から朴槿恵（パク・クネ）政権まで大統領府の諮問委員を務めた他、現代日本学会会長（2013年1月～12月）、世宗研究所日本研究センター長（2002年7月～）、南北首脳会談諮問議員（2018年3月～）などを歴任。

